



創る

チューリップの球根から・・・
厳しい寒さの中にも春の足音が

令和 7 年

2 月 6 日 (第 19 号)

学校長 村松 章史



残り少ない令和 6 年度

最近の各学年の様子から (1 年生)

2 月 4 日 (火)、53 名の入学予定の皆さんと保護者の方に向け、入学説明会を行いました。児童と保護者の皆さんを分け、児童には本校の 1 年生から、保護者の方に対しては教職員から説明をしました。1 年生は、3 学期が始まってすぐに「I LOVE 市中 (ラブイチ)」をテーマに掲げて取組を進めてきました。当日は、学校生活の説明と校舎案内を 6 グループに分かれて行い、6 年生と楽しく交流しながらも頼もしくリードする姿に、先輩らしさが十分に感じられました。「6 年生に中学校生活について知ってもらいたい」という目的に向かって一丸となって取り組んでくれました。



1 月 30 日 (木) に行われた「道徳」は、「郷土の伝統と文化の尊重」「郷土を愛する態度」について考え深める授業でした。市川三郷町では「みさと学」が推進され、各校では地域での体験から新たな発想を広げ、地域とつながるような活動を行っています。本校の 1 年生が 6 月に行う「地域めぐり」では、地域産業に関わる企業の商品開発の現場を訪ね、そこから得た学びを基に中学生のアイデアを企業や地域に提案していく活動を行っています。その成果を町役場に展示させていただくと共に、関わっていただいた企業やご覧いただいた方々からアドバイスや感想をいただきました。今回の「道徳」では、そのアドバイスや感想から、「町の皆さんが温かくも厳しいアドバイスをくれたのは、私たちにどんな願いを込めたのか」を考え、仲間と共有しました。



生徒からは、「町の人たちが私たちに寄せる期待」「もっといいアイデアになると応援してくれている」「柔軟な広い視点で考えられるようになってほしい」「私たちに委ねられる未来があると思ったから」といった意見が出されました。また、この授業を通して考えたこととして、「これからの活動も楽しみ」「思ったことを伝えてくれてうれしい」「応援に応えて恩返しができるようにしたい」などの感想が出され、地域の人々や文化に支えられ、愛されているという実感を手にしていました。



ますますの成長が楽しみです。(次回は 2 年生です。)